

「水源の森づくり2017」を開催しました

月山ダム水源地域ビジョンでは、ダムと関わりの深い「水」に着目し、その水を育む「森」を核とした「水源の森づくり」を展開し、そこから基本理念に沿った活動が派生していくよう、取り組みを進めております。

平成27年度のテストイベントから数えて3回目の開催となった今年度も、一般の参加者を広く募集し、昨年度より多くの方に参加して頂きました。ドングリ拾い・播種や竹製の里親ポットの作製に加え、今年度はダム湖に流入した流木を用いて焚き火を行い、焼き芋を作って芋煮とともに参加者全員で秋の味覚を堪能しました。

■「水源の森づくり」とは■

水資源を利用する市民が、森の元となる樹木のタネの採取から、植樹・育林を自ら行い、水源となる森を醸成するものです。それらを通して身近な環境に触れ、また、資源としての水の成り立ちを学習することから、水源地域が持つ特徴を生かした、地域づくりの基となることを目指します。

＜水源の森づくり2017開催＞

月山ダム水源地域ビジョンの活動として、ドングリ等、木の実の採集やタネ植えを行いました。

実施日：平成29年10月15日（日） 9：30～14：00

場 所：○ 月山ダム管理所（集合・受付：1F 地域防災センター）
○ 湯殿山スキー場・くわだいさくら公園

内 容：○ 講演「水源の森づくりってなんだろう」 山形大学 農学部 准教授 菊池俊一
○ 木の实と落ち葉拾い・森林観察・タネ植え作業・焚き火・焼き芋

